

四季彩便り

2006・早春

発行人
サニー光が丘
漢方四季彩堂
酒見 裕子
(092)927-2693

東風ふかば...

梅の開花が待ち遠しい

太宰府天満宮に行ってきました。

今年の立春（二月四日）は雪模様の寒い朝でしたが暦の上ではもう春。そして雨水（二月十九日）の頃には雪が雨に変わり、氷は溶けて水となり、春の気配に草木が蘇る・・・
心も体もうきうきしてきますね。

中医学では春は「**上にのぼり、外に発散する**」季節と考えます。私たちが人間もこの自然のエネルギーの影響を受け、知らない間に心身の微妙な変化が起きているのです。

陰陽五行説は自然界の法則を陰・陽Ⅱ陰陽説
木・火・土・金・水の五つⅡ五行説に分類して考える中医学の基本理念です。（既刊で図解しました）この説によれば春は「肝」の季節。中医学でいう「肝」は単に臓器をいうのではなくもつと広範囲に、**血を貯蔵し全身にくまなく巡らせ、目と筋腱・爪を養い、精神・情緒を安定させる働きを担っています。**

春は肝の機能が刺激されるので、精神的な症状があらわれやすくなります。



東風ふかばにはひびおこせよ 梅の花
あるじなしとて 春をわすれず

折々の薬草

梅（生薬名 烏梅）

早春を彩る木花の代表。

太宰府天満宮の境内には約二百種六千本の梅があつて、参拝者の目を楽ませてくれます。

今年は例年に比べ開花が遅く、節分の時点ではまだ蕾ばかりでした。

薬用には未成熟の果実（青梅）を燻製にし、種（核）を除いて用います。

下痢止め、吐き気止め、消化不良、回虫駆除などの目的に使われます。漢方処方としては烏梅丸・烏梅膏が記されています。

ウバイです



ゴミじゃありません!!

五臓	五腑	五行	五官	五体	五志	五華	五味	五季	五色
肝	胆	木	目	筋	怒	爪	酸	春	青

みんな関連していますよ

飛梅



うん
もうちょっとで味かかな～

四季の話題

二月二日は節分でしたが、節分と言えは豆まき。（最近では恵方巻きに押され気味の感もありますが）太宰府天満宮でも豆まきが行われました。

節分は旧暦では大晦日にあたり、「邪気を払い清らかな新年を迎える」ための行事の一つとして、宮中や寺社で行われていた儀式が融合して、現在の豆まきとして残っているのだとか。

なぜ「豆」をまくのかというと、その黄穀物には邪気を払う霊力が備わっていると信じられていたからだとされています。

豆をまくのはその年の干支の人や厄年の人・一家の主人で、自分の年の数だけ豆を食べるとその一年は健康で過ごせるといわれています。（精神年齢の数なら食べられそう・・・）

ところで、アメリカでは二月二日はグラントホッグ・デイといって春の訪れを占う伝統行事が各地で催されるそうです。これは十九世紀ドイツから伝わったキャンドルマス・デイが変化したこと。春を待つ心は世界共通のようです。

